

# 本社調査 2019年度 都道府県観光予算アンケート

## ⑤九州／沖縄

### 佐賀県

【観光予算】

1,249,507千円(前年度比104.5%)

【予算額上位】

- ①観光連盟補助 (1,101,481千円)
- ②観光振興事業費 (104,442千円)
- ③九州観光推進機構負担金 (36,266千円)
- ④国際観光宣伝事業費 (7,318千円)
- ⑤

【分野別主要事業】

- インバウンド誘客促進
  - 欧州市場対策事業 (10,000千円)
  - 
  -
- 日本人国内旅行誘客促進
  - 九州域内対策事業 (10,000千円)
  - 
  -
- 観光資源発掘・磨き上げ、受け入れ態勢整備
  - 受入環境整備事業 (2,000千円)
  - 観光資源創出事業 (15,000千円)
  - アート県庁事業 (50,000千円)
- 観光産業の振興、人材育成、DMO推進
  - 観光地域づくり推進事業費〈DMO関係〉 (10,554千円)
  - 
  -

### 福岡県

【観光予算】

307,736千円(前年度比47.8%)

暫定予算 ※知事選のため4～7月の4ヵ月予算として編成

【予算額上位】

- ①観光振興事業費 (154,257千円)
- ②観光プロモーション推進事業費 (21,796千円)
- ③外国人観光客受入環境整備事業費 (17,186千円)
- ④伝統工芸振興費 (16,700千円)
- ⑤観光関係団体体育成費 (15,950千円)

【分野別主要事業】

- インバウンド誘客促進
  - 観光プロモーション推進事業費〈RWC2019、オリパラを契機とした観光誘客〉 (15,515千円)
  - 観光プロモーション推進事業費〈海外観光客県内周遊促進事業〉 (4,795千円)
  -
- 日本人国内旅行誘客促進
  - マーケティング調査機能強化費 (9,061千円)
  - 観光プロモーション推進事業費〈国内〉 (1,486千円)
  -
- 観光資源発掘・磨き上げ、受け入れ態勢整備
  - 外国人観光客受入環境整備事業費 (17,186千円)
  - 体験・交流・滞在型観光資源開発事業費 (7,925千円)
  -
- 観光産業の振興、人材育成、DMO推進
  - 地場産業振興事業費 (10,828千円)
  - 観光組織・人材育成事業費 (7,333千円)

### 大分県

【観光予算】

513,352千円(前年度比86.3%)

骨格予算

【予算額上位】

- ①ラグビーワールドカップ観光振興事業 (110,036千円)
- ②国内誘客総合推進事業 (90,229千円)
- ③インバウンド推進事業 (71,597千円)
- ④広域ツーリズム推進事業 (53,308千円)
- ⑤おんせん県おいたDMO促進事業 (52,085千円)

【分野別主要事業】

- インバウンド誘客促進
  - ラグビーワールドカップ観光振興事業 (110,036千円)
  - インバウンド推進事業 (71,597千円)
  -
- 日本人国内旅行誘客促進
  - 国内誘客総合推進事業 (90,229千円)
  - 広域ツーリズム推進事業 (53,308千円)
  -
- 観光資源発掘・磨き上げ、受け入れ態勢整備
  - おもてなしトイレ緊急整備事業 (49,399千円)
  - おもてなし人材育成事業 (12,078千円 ※17,376千円の内数)
  -
- 観光産業の振興、人材育成、DMO推進
  - おんせん県おいたDMO促進事業 (52,085千円)
  - おもてなし人材育成事業 (5,298千円 ※17,376千円の内数)

### 熊本県

【観光予算】

1,959,035千円(前年度比184.7%)

◆新規事業のデジタルマーケティング事業などで増額

【予算額上位】

- ①産業展示場災害復旧等事業 (798,615千円)
- ②デジタルマーケティング事業 (128,712千円)
- ③熊本地震復興観光拠点整備等推進事業 (108,050千円)
- ④伝統工芸館管理運営費 (79,910千円)
- ⑤「がんばろう！熊本」観光復興事業 (79,299千円)

【分野別主要事業】

- インバウンド誘客促進
  - 国際スポーツ大会対策事業 (45,546千円)
  - クルーズ船寄港による経済効果促進事業 (36,561千円)
  - インバウンド誘致推進事業 (30,782千円)
- 日本人国内旅行誘客促進
  - 熊本地震復興観光拠点整備等推進事業 (108,050千円)
  - 「がんばろう！熊本」観光復興事業 (79,299千円)
  -
- 観光資源発掘・磨き上げ、受け入れ態勢整備
  - 「がんばろう！熊本」観光復興事業の一部 (25,000千円)
  - 
  -
- 観光産業の振興、人材育成、DMO推進
  - 観光産業復興による雇用創出事業 (15,000千円)
  - 観光ビジネスチャレンジ支援事業 (10,000千円)
  - 県産品販路拡大による雇用創出事業 (8,000千円)

### 長崎県

【観光予算】

1,041,728千円(前年度比93.0%)

【予算額上位】

- ①しま旅グレードアップ事業 (233,901千円)
- ②しま旅滞在促進事業 (199,259千円)
- ③21世紀まちづくり推進総合支援事業 (122,679千円)
- ④亜熱帯植物園等施設管理運営事業 (74,018千円)
- ⑤広域観光共同宣伝事業 (64,514千円)

【分野別主要事業】

- インバウンド誘客促進
  - インバウンド個人旅行誘客拡大事業 (57,274千円)
  - 大型客船誘致促進プロジェクト事業 (48,025千円)
  - ビジットながさき・インバウンド旅行創出事業 (38,565千円)
- 日本人国内旅行誘客促進
  - しま旅滞在促進事業 (199,259千円)
  - 周遊観光スマート化推進事業 (30,390千円)
  - ながさきリピーター創出促進事業 (20,399千円)
- 観光資源発掘・磨き上げ、受け入れ態勢整備
  - 21世紀まちづくり推進総合支援事業 (122,679千円)
  - 世界遺産受入体制整備促進事業 (10,060千円)
  - 「住んでよし・訪れてよし」まちづくり応援事業 (2,946千円)
- 観光産業の振興、人材育成、DMO推進
  - DMO組織化支援事業 (6,244千円)
  - 観光の「ミライ★ニナイ」手育成塾 (2,042千円)
  - 「長崎コンシェルジュ」推進事業 (4,154千円)

### 沖縄県

【観光予算】

4,538,102千円(前年度比97.2%)

【予算額上位】

- ①戦略的MICE誘致促進事業 (381,200千円)
- ②沖縄観光国際化ビッグバン事業 (1,011,000千円)
- ③国内需要安定化事業 (382,400千円)
- ④スポーツツーリズム戦略推進事業 (328,900千円)
- ⑤離島観光活性化促進事業 (271,500千円)

【分野別主要事業】

- インバウンド誘客促進
  - 沖縄観光国際化ビッグバン事業 (1,011,000千円)
  - クルーズ船プロモーション事業 (90,500千円)
  -
- 日本人国内旅行誘客促進
  - 国内需要安定化事業 (382,400千円)
  - スポーツツーリズム戦略推進事業 (328,900千円)
  - 離島観光活性化促進事業 (271,500千円)
- 観光資源発掘・磨き上げ、受け入れ態勢整備
  - 大型MICE受入環境整備事業 (28,839千円)
  - 外国人観光客受入体制強化事業 (293,600千円)
  - 観光2次交通機能強化事業 (94,100千円)
- 観光産業の振興、人材育成、DMO推進
  - 観光人材育成・確保促進事業 (104,700千円)
  - 地域通訳案内士育成等事業 (47,400千円)
  - 地域観光支援事業 (3,529千円)

### 鹿児島県

【観光予算】

1,815,803千円(前年度比74.2%)

◆組織再編でスポーツ関係予算が他部に移ったこと、大型施設整備の完了により前年度比で減額になっている。

【予算額上位】

- ①魅力ある観光地づくり事業 (1,100,000千円)
- ②奄美パーク管理事業 (150,852千円)
- ③海外誘客ステップアップ事業 (122,418千円)
- ④観光かごしま大キャンペーン推進事業 (85,000千円)
- ⑤国内誘客プロモーション事業 (66,661千円)

【分野別主要事業】

- インバウンド誘客促進
  - 海外誘客ステップアップ事業 (122,418千円)
  - 
  -
- 日本人国内旅行誘客促進
  - 観光かごしま大キャンペーン推進事業 (85,000千円)
  - 国内誘客プロモーション事業 (66,661千円)
  -
- 観光資源発掘・磨き上げ、受け入れ態勢整備
  - 外国人観光客受入体制整備事業 (22,528千円)
  - 地域観光資源磨き上げ事業 (11,924千円)
  -
- 観光産業の振興、人材育成、DMO推進
  - 観光振興対策事業 (7,716千円)
  - 
  -

### 宮崎県

【観光予算】

728,087千円(前年度比25.4%)

骨格予算 ◆2018年度当初観光予算額には「観光みやざき未来創造基金」(20億51万円)を計上。このため前年度比で減額。

【予算額上位】

- ①東京オリパラ等合宿誘致・受入推進事業 (89,500千円)
- ②宮崎県観光協会運営費補助金 (65,261千円)
- ③「スポーツランドみやざき」を生かしたまちづくり推進事業 (63,959千円)
- ④個人旅行をターゲットとした観光地域づくり事業 (52,021千円)
- ⑤「Welcome to みやざき」海外プロモーション事業 (47,227千円)

【分野別主要事業】

- インバウンド誘客促進
  - 「Welcome to みやざき」海外プロモーション事業 (47,227千円)
  - インバウンド誘客強化事業 (22,652千円)
  - ゴールデン・スポーツイヤーズ誘客強化事業 (46,534千円)
- 日本人国内旅行誘客促進
  - 「日本のひなた宮崎県」国内誘致推進事業 (16,029千円)
  - 交通機関と連携した国内誘客対策強化事業 (20,000千円)
  - 「スポーツランドみやざき」を生かしたまちづくり推進事業 (63,959千円)
- 観光資源発掘・磨き上げ、受け入れ態勢整備
  - 魅力ある観光地づくり推進支援事業 (9,429千円)
  - 東京オリパラ等合宿誘致・受入推進事業 (89,500千円)
  - 新たな教育旅行に対応した誘客推進事業 (10,239千円)
- 観光産業の振興、人材育成、DMO推進
  - 個人旅行をターゲットとした観光地域づくり事業 (52,021千円)

観光経済新聞社は、47都道府県の観光担当課を対象に、2019年度当初予算の観光予算額についてアンケート調査を実施した。前号、前々号に続いて今回は九州、沖縄、中国、四国、各地方ブロックの17県の結果を掲載する。このうち5県が知事選などため、他県が知事選のため、大分県、宮崎県、福岡県、徳島県が前年度の比較が難しい。他の12県の19年度当初の観光予算額は、7県が前年度額を上回った。

19年度当初予算の観光予算額は、各自治体の観光担当課に計上した予算額について回答を求めた結果。国の補助金などを充てた事業の予算額は含め、職員給与費は除外して回答し、原則として5月下旬までに、観光担当課に計上

#### 2019年度の主要なイベント、キャンペーン、周年事業など

自治体为主导、企画、支援しているもの。回答を基に掲載(終了、開催中含む)

- 【福岡県】ラグビーワールドカップ2019日本大会=9月26日、10月2・12日
- 【熊本県】熊本デスティネーションキャンペーン=2019年7～9月
- 【大分県】ラグビーワールドカップ2019大分開催=2019年10月2～20日
- 【宮崎県】2019 I S Aワールドサーフィンゲームス=2019年9月7～15日 / I T Uトライアスロンワールドカップ(2019/宮崎)=2019年10月24～27日
- 【鳥取県】山陰デスティネーションキャンペーン・アフターキャンペーン=2019年7～9月 / 日本の旬 国立公園=2019年4～9月
- 【岡山県】おかやま観光キャンペーン事業=2019年7～11月 / DISCOVER WEST連携協議会事業=2019年4月～2020年3月
- 【広島県】カンパイ！広島牡蠣ングダム
- 【山口県】YAMAGUCHI MAGIC!に関するキャンペーン=2019年4月～2020年3月
- 【徳島県】阿波おどり=2019年春4月20・21日、夏8月12～15日、秋11月1～4日 / とくしまマラソン=未定
- 【香川県】SETOUCHI SUMMER NIGHT FESTIVAL 2019=2019年7～8月 / 全国年明けうどん大会inさぬぎ2019=2019年12月
- 【愛媛県】えひめさんさん物語=2019年4月20日～11月24日 / 瀬戸内しまなみ海道開通20周年記念事業=2019年6月～
- 【高知県】リョーマの休日～自然&体験キャンペーン=2019年2月～2020年12月 / 土佐れいほく博=2019年7月7日～12月25日